

TANYO SHINYO KINKO

地域とのつながりを大切に。 当金庫の地域経済活性化への取り組みについて

生野銀山開坑1200年記念事業

2007年は生野銀山開坑1200年という節目であり、多くの記念イベントが行われました。特に、8月11日～15日までは「生野夏物語」と称し、伊吹文部科学大臣をお招きしての記念式典やシンポジウム、志村喬映画会、盆踊り大会、燈籠流しなどが盛大に行われ賑わいを見せました。

当金庫も8月から9月にかけて美術館をオープンし、所蔵している青山熊治、白瀧幾之助、和田三造などの作品を公開し、積極的に参加しました。

また「夏物語」期間中、生野支店の窓口は全員浴衣で仕事をし、ムード盛り上げに役果たしました。



生野銀山開坑1200年記念事業



KAKOGAWA(踊ってまつり)

インターンシップ実習



加古川ツーデーマーチ



税に関する書道優秀作品展

加古川ツーデーマーチ

全国有数規模のウォーキングイベントである「加古川ツーデーマーチ」は18回を数え、2日間で延べ9,815名のウォーカーが参加しました。毎回、多数の市民ボランティアが運営に協力しています。

当金庫は協賛するとともに毎回80名近い職員が受付・模擬店のボランティアとして参加しています。

インターンシップ実習

当金庫は毎年、関西圏の大学生をインターンシップ実習生として受け入れており、大学が参加学生を対象に行ったアンケート調査で好評を得ています。大学生の企業でのインターンシップは将来の就職活動を見据え、年を追うごとに希望者が増加しています。

学生は、こうした実習で金融機関について就職活動だけではなく、情報や知識が収集できるため、実習への参加希望はますます多くなるとは思いますが、できる限り要望に応じていきたいと考えています。

KAKOGAWA(踊ってまつり)

〔KAKOGAWA踊ってまつり〕は今年で10回を数え、毎回、市民の皆さんが主体的に企画、運営する市民祭の祭です。毎年、5月のゴールデンウィークに開催され今年は106チームの参加があり、盛大に開催されました。当金庫はまちづくりの一環として第1回目から協賛しています。

まっせまつり

神戸町中村から栗賀町までの旧街道沿いの、空店舗・空地および民家の軒下を利用して「まるごとうりまっせ」と住民・商工業者が特産品の販売およびバザーイベントを開催しています。

毎年、町内外から多数の人が参加されて大いに賑わっており、当金庫も毎年バザーに出店しまつりに参加しています。

旧街道は日本最初のハイウェイとして、姫路から生野鉱山まで南北49kmに及び「銀の馬車道」であり、平成19年10月「銀の馬車道交流館」がオープンし、地域交流の場として活用されています。

「税に関する書道優秀作品展」開催

加古川納税貯蓄組合連合会・加古川税務署より、税についての関心を高めてもらおうと児童の書道・ポスター優秀作品展を東播地区9支店で開催しました。

小学校高学年の児童から「確定申告」、「社会と税」、「身近な税」、「みんなの税金みんなのために」、「ありがとう税金」など税金に関する標語を募集し、書道2,917点とポスター41点が集まりました。このうち優秀作品として、書道47点とポスター7点が展示されました。

「地域密着型金融」の取組み状況

(平成19年4月～平成20年3月)

■ 当金庫は、平成19年11月「地域密着型金融」への中期的な取組みを策定・公表しています。これは、平成19年5月に金融庁から「中小・地域金融機関向けの総合的な監督指針」の改正が公表され、地域金融機関に求められる恒久的使命は、重点強化期間(平成19～20年度)内において、①ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化、②事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底、③地域の情報収集を活用した持続可能な地域経済への活用(以下「主要項目」という。)が求められており、そのために金融業務を通じて地域貢献を「地域密着型金融」の実践と位置づけ、具体的な取組み方針を策定し、推進しています。

■ 平成20年3月で取組み期間の1年が経過し、この間、計画に沿った取組みは、金融業務を通じての地域貢献に繋がるとはもとより、当金庫のビジネスモデルの高度化と収益力の向上につながるとの認識に立ち、引き続き実効性の確保に向けて着実に取組んでいます。

■ 今般、平成19年4月～平成20年3月まで(平成19年度)の取組み状況を取りまとめましたので、以下の通り公表いたします。ご覧いただければ当金庫の姿勢や取組みの状況がご理解いただけるものと思います。

■ 当金庫は、金融のことだけでなく、どんなことでもお気軽に相談していただける「よろず相談所」「地域の交番所」をめざすとともに、健全経営の維持向上に努め、地域のみならずとってなくてはならない信用金庫を目指し、一層の努力をしております。

主要項目の進捗状況

I. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

①中小零細企業への目利き力向上のため、取引先の実態把握、定性情報の収集・蓄積・活用に向けた当金庫独自の「企業概要カード」「情報収集履歴」の充実を図ります。取引先企業の経営改善支援の取組みについては、取引先においてさらなる経営悪化を防ぐ先、今後業績不振で経営悪化が予想される先、その他モニタリングが必要な先等に対して個々の企業のライフサイクルに応じた適切な改善支援を行うとともに、商工会議所、商工会、再生支援協議会、事業再生の外部専門家および「中小企業再生支援協議会」等との連携を強化し、事業再生に向けた取組みを積極的に行っています。

②(財)神戸市産業振興財団の「川上・川下ネットワーク構築事業」に参画し、企業の保有する強みを生かしたビジネスマッチング支援等にも積極的に取組んでいます。

③社会的問題となっている多重債務者問題取組みについては、「地域金融機関としての使命」と位置づけ、多重債務未然防止のための適切なローンの提供や、経営相談部に個人支援課を創設し、多重債務者に対する金融相談や営業店サポート体制等の充実を図っています。

④ビジネスモデルを「よろず相談信用金庫の実践」として、お取引先の「問題解決に向けた提案」「付加価値の高いサービスの提供」等、「課題解決型・提案型ビジネス」を目指し、「融資実務研修会」等の開催を通じて、定性的な非財務情報の適正な評価を行うための能力向上に取組んでいます。

II. 事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

①「政府系金融機関との協調融資」については、中小企業金融公庫、国民生活金融公庫、商工組合中央金庫、及び農林漁業金融公庫との間でお互いの業務特性を生かし地域における中小企業の金融円滑化を図り、地域経済の発展に貢献することを目的に業務提携・協力に関する覚書を締結しています。

②取引先が有する事業収益資産を活用したリース会社提携によるトラック等を担保とした「ビジネスオートローン」、機械設備を担保とした「設備担保ローン」を創設し、積極的に取組んでいます。

③担保・保証に過度に依存しない融資の実行およびスコアリングモデル・格付による事業性融資商品の推進に取組んでいます。

④(財)神戸市産業振興財団の「川上・川下ネットワーク構築事業」に参画、販路拡大等具体的支援策を策定し積極的に取組んでいます。

III. 地域の情報収集を活用した持続可能な地域経済への貢献

①地域社会の活性化に向けた、「ビジョン策定」や「官民」連携による地域一体となった観光開発をはじめとした地域の面的再生の「コーディネーター」として積極的に参画しています。当金庫発祥地の朝来市生野町において、産官学連携により推進している鉱山遺構の観光事業化計画(「銀の馬車道」「鉱山の道」プロジェクト)等にコンソーシアムの一員として参画し地元金融機関としての役割を果たしています。

②コミュニティ・ビジネスやNPOへの支援・融資ならびにボランティア活動を通じての地域社会への貢献・還元に努めています。

経営改善支援等の取組み実績(19年4月～20年3月) (単位:先、%)

	期初債務者数	うち経営改善支援取組み先数	αのうち期末に債務者区分がランクアップした先数		αのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数		経営改善支援取組み率	ランクアップ率	再生計画策定率
			β	γ	δ	α/A			
正常先	① 1,042	25	16	14	2.4	9.7	56.0		
要注意先	うちその他重要注意先	② 762	72	7	62	49	9.4	9.7	68.4
	うち重要管理先	③ 33	3	0	2	1	9.1	0	33.3
	破綻懸念先	④ 135	14	2	12	12	10.4	14.3	85.7
実質破綻先	⑤ 77	3	0	3	1	3.9	0	33.3	
破綻先	⑥ 26	0	0	0	0	0	0	0	
小計(②～⑥の計)	1,033	92	9	79	63	8.9	9.8	68.5	
合計	2,075	117	9	95	77	5.6	7.7	65.8	

(注)・期初債務者数及び債務者区分は19年4月初時点です。

公表数値目標の達成状況(19年4月～20年3月)

公表数値目標の内容	公表数値目標		実績
	平成20年3月末	平成19年4月末	
「企業概要カード」の整備先数	2,000先	2,048先	
「ひょうご中小企業技術評価制度」の評価取得	3社	2社	
政府系金融機関との協調融資	25件	15件	
創業・新事業資金	60件	47件	
うち「創業支援特別融資」	20件	4件	
経営改善対象先抽出先数	105先	77先	
債務者区分ランクアップ	9先	9先	
スコアリングモデルを活用した無担保ローン件数	500件	339件	
スコアリングモデルを活用した無担保ローン金額	64億円	57億円	
TKC関与先に対する融資「ビジネスサポート」	25先	29先	
売掛債権担保融資	150件	140件	
販路開拓事業(マッチング事業)シーズ調査希望先	20先	22先	

・「公表数値目標」とは、「地域密着型金融」への取組みにおいて公表した数値目標です。
・公表数値目標について追加、見直し等を行った場合は、その旨備考欄に記載しております。